

事業概要

補助事業番号 ①9社-016

補助事業名 平成19年度 機器の整備 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人 みぬま福祉会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

入所者の現状は、8割が身障手帳1級、2割が2級、そして7割の人たちが重度重複障害を伴っており、立位の保持や歩行、意思の疎通が困難な方が大半を占めています。

そのような現状の中でも排泄についてはオムツからトイレでの排泄へ、清潔で気持ちのよい排泄への取り組みを進めてきました。また入浴についても、「もっと、毎日でも入りたい」とする、人として当たり前の要求と、何とかその要求に副えるように回数を増やしてあげたいとする職員の思いの中で、週2回から3回への入浴の実現を進めてきました。

そのような現状の中でも排泄についてはオムツからトイレでの排泄へ、清潔で気持ちのよい排泄への取り組みを進めてきました。また入浴についても、「もっと、毎日でも入りたい」とする、人として当たり前の要求と、何とかその要求に副えるように回数を増やしてあげたいとする職員の思いの中で、週2回から3回への入浴の実現を進めてきました。

しかしそこには障害の重さがネックになり、1人に対し職員複数名体制での入浴が常に必要であり、結果としてマンパワーではこれ以上の回数向上にはなかなか結びつかないという限界も感じています。今後は個々の障害の程度とともに、その進行や加齢の影響、筋力の低下等がますます明らかになり介助率が増していくことなどが危惧されます。

当施設(大地)においては利用者の障害程度に対し施設の設定が充分でないことも大きな問題であるとも思われ

ますが、今後各所への介護リフト等、介護用機器の需要はさらに増すと思われます。

また現在、大地では腰痛を抱え、治療を行いながら勤務をしている職員の数がとても多く、腰痛問題・対策が一番深刻な問題であります。

今回の介護用天井走行リフトおよび入浴介護用器具の整備は、介護職員の負担軽減および腰痛対策だけでなく、利用者の基本的な生活の要求を叶えること。そして抱え上げ・移乗時等の安全性の確保のための整備であり早急な整備の必要性を感じています。

(2) 実施内容

介護職員の腰痛の改善、予防および施設入所者への適切な介護の保障と安全性の確保するため、天井走行リフトおよび入浴介護用器具の機器整備を以下の通り実施する。

トイレ用天井走行リフト(備付け型)	2基
入浴用天井走行リフト(可搬型)	2基
電動昇降式介護台	1台

設置後2ヶ月を経過する現在、天井走行リフト(浴室用とトイレ用)の設置により、浴室用リフトは入浴時の抱え上げ回数の減少により、介護負担が軽減された。トイレ用リフトに至ってはその段差の解消に多大なる成果を上げることができ、介護負担が大きく軽減された。また電動昇降台についても中腰の姿勢の解消等により介助負担軽減に大きな成果を上げている。

2. 予想される事業実施効果

腰痛故障者にとっても機器の利用により、利用者に十分な介護が提供できるであろう。また機器の導入後に腰痛故障者を出していないという事実からも、その対策・予防としての成果もますます顕著になるであろうと考えられる。

3. 本事業により作成した印刷物等

特になし

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 : 社会福祉法人 みぬま福祉会
住 所 : 333-0831 埼玉県川口市木曾呂1374番地
代表者 : 理事長 高橋 孝雄 (タカハシ タカオ)
担当部署 : 大地 (ダイチ)
担当者名 : 指導員 篠崎 昭夫 (シノザキ アキオ)
電話番号 : 048-764-3881
F A X : 048-764-7788
E-mail : minuma-daichi@marble.ne.jp
U R L : <http://minuma-hukushi.com/>